

介護と人生

仕事・子育てと
どう両立させる？

19

日本エルダーライフ協会 代表理事
ケアライフアドバイザー

柴本美佐代

各施設の特徴

介護が重度になると、最終的に施設への入所を検討する方も多いと思いますが、そもそも施設とはどんなところなのでしょう。

施設では24時間介護をしてくれると思っていませんか？ 24時間介護というのは、24時間対応できる職員が常駐しているという意味で、通常は生活リズムに合

わせた定期的な介護と見守りを行います。

施設の種類による違いもあり、特別養護老人ホーム（特養）では、介護は受けられませんが、医療は別です。

緊急時は職員が医療機関に付き添いますが、入院や手術の同意などは家族の役割です。重大な医療行為に関する同意や決定を行うのは家族にしかできない行為だからです。定期的な診療は提携の医師が施設を訪問して行いますが、病院へ行く必要がある場合は原則家族が行うことになります。また、重篤な病気などで入院が長引くと退所しなくてはならないこともあります。

介護老人保健施設（老健）

はどうでしょうか。特定の医療行為はできますが、それ以外は病院と同じにはで

入所の検討は早い段階から行う

きません。また、リハビリのための施設だということとで期待していたのに、リハビリの時間が少ないと不満を抱く人もいますが、個別のリハビリは病院と変わりがありません。

施設での生活を通して日常生活に必要な機能を回復するのが老健の目的です。病院から在宅介護へ復帰するための中間施設なので滞在期間が限られますが、特養に比べて入所しやすいという利点もあります。

民間の高齢者住宅や有料老人ホームは要介護になつてからだけでなく、自立状態で入居して最期まで暮らせるところもあります。費用面は建物の豪華さや広さ、付帯する設備や施設によって変わります。

介護が重くなってどうにもならなくなつてから施設入所を決めるのではなく、どの時期に何を目的にどこに入所するのが良いか、早い段階で検討しておくのが良いでしょう。

特別養護老人ホーム

24時間介護

民間の高齢者住宅
や有料老人ホーム

介護老人保健施設

